

## 基幹探究 教科基礎 国語 指導計画(案)

2023.9.1

○内 容 古典文学講読 ―『奥のほそ道』を通して越中歌枕を探る―

○配 時 4時間

○指導者

○生 徒 探究科学科2クラス 80名(16名×5班)

○教 材 松尾芭蕉『奥のほそ道』黒部～金沢

河合曾良『奥の細道随行日記』

『万葉集』

古語辞典、古典文法書、古文参考書 等

各回のワークシート

付箋

○展 開 4人のグループ活動

第1時 古文の読解(1)——松尾芭蕉『奥のほそ道』を用いて 越中路だけでも可

- ・音読、歴史的仮名遣い
- ・古語辞典・文法書の使い方
- ・現代語訳、内容読解、季節・季語の指摘

第2時 古文の読解(2)——河合曾良『奥の細道随行日記』を用いて

- ・現代語訳、内容読解
- ・文中に現れる地名を地図上でたどる

第3時 古文の読解(2) ——河合曾良『奥の細道随行日記』を用いて(続き)

第4時 古文の読解(3)——『おくのほそ道』・『奥の細道随行日記』比較

- ・内容を比較し、類似点や相違点を挙げる
- ・松尾芭蕉の知的関心や問題意識、創作の秘密、『万葉集』の越中歌枕等を考察する
- ・『万葉集』の越中歌枕の用例をこちらから提示してもよいかも

○評 価 毎時の生徒観察、探究ノートの点検と生徒の発言態度・内容

評価項目 ①文章を正確に読解している

②文中の地名を地図と関係づけている

③複数の文章を客観的に比較している

④レポートを論理的に評価している

⑤主体的に活動に取り組んでいる